

実物投影機で縫い物の作業を大きく映して見せる

単元名「はじめてみようソーイング」(5年)

豊中市立庄内南小学校

ICT 活用のポイント

- ・実物投影機を使って、手縫いの細かい作業を実物より大きく映し、分かりやすくする。

学習の流れ



①針と糸を使って縫ってあるものや、縫った経験について意見を出し合う。

②学習のめあてを知る。

デジタル教科書の写真を拡大しながら針やはさみの使い方を説明する。

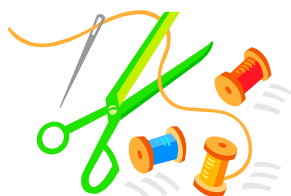
③実物投影機で映し出された教員の手本と一緒に玉結び、玉止めをする。

活用のポイント

- ・作業の様子が、児童に分かりやすいように映す。

④練習布で玉結び、玉止めを練習する。

⑤道具を片付け、授業のふりかえりをする。



使用する機器・教材等

指導書付属のデジタル教科書、パソコン、実物投影機、プロジェクタ